

2020年飛翔

かかわるすべての
みなさまとともに

遊文舎を支えていただいているすべてのみなさま、いつも遊文舎に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。みなさまのおかげで、遊文舎は厳しい世相の中2019年度も越年し、新年度を迎えることができました。心より感謝申し上げます。売上は8億8千500万円と昨対比4%の8期連続増収、最新鋭のデジタル印刷機への投資等で減価償却負担は増えましたが、経常利益も確保できそうです。

◆ 大胆な飛躍より着実な成長を

企業の営みについての考え方は種々ありますが、伊那食品工業の塚越寛氏の言葉を借りれば、「企業は膨張（実態のともなわない肥大）ではなく成長（明確な意思と計画に基づいた拡大）を目指さないといけない。その営みは年輪を育む樹木の如しである」ということになります。私は大胆な飛躍より、社員の幸福を優先した着実な成長の継続こそが肝要だと考えています。

すべての社員の安定した生活と幸福を担保する手段として原資となる利益、そのもととなる売上を追求する。そのためには

お客様、ひいては社会に支持されるような商品サービスを提供し続け、自らの存在価値を高めていかねばなりません。遊文舎の社員が自信と誇りを持って自らを高め、お客様に誠心誠意尽くすことを継続すれば、お客様のお役に立つような貢献を果たせ、結果として遊文舎が成長を持続でき社員が幸福になる。そのような正のスパイラルを今年度も広げていけるよう、一同力をあわせて前進してゆく所存です。

◆ 社員の生活と企業の成長は一体

働き方改革関連のフレーズを耳にしない日はありません。たった数年で世の中のルールは大きく変わりました。お客様はもちろん、働く人からも支持されないと企業の運営が成り立たない時代が本格的に幕開けしました。2020年4月より施行される同一労働同一賃金、また超過勤務時間上限規制の中小企業猶予

裏面に続く▶



大阪本社メンバー



東京支店メンバー

解除は企業にさらに難しい運営を課すことでしょう。働く人にとって目先の所得が減るリスク、またそもそも勤務先の経営が成り立たなくなるとは生活基盤が侵されてしまいます。そうならないように、働く人の生活と仕事、企業の成長がバランスよく噛み合い向上するようにこれまで以上に企業と社員は一体となる必要があると考えます。

遊文舎では2019年2月に経済産業省主幹の健康経営優良法人認定制度にチャレンジし、認可を受けることができました。そこにとどまらず、社員とのコミュニケーションをより密にし、形骸化しない本当の意味での社員の健やかな生活と充実した仕事の両立への施策を総務チーム主体で推進してまいります。

私たちの事業領域は印刷物をはじめとした情報媒体を製作してお届けすることですが、そこに至るまでのサービスの部分でお客さまと接点を持つ社員が真摯に仕事に向き合ってこそ良質な成果物につながります。社員が「one team」となり皆でお客さまに向き合うこと以上の顧客サービスはありません。そのことを肝に銘じて慎重に経営のかじ取りを行う所存でございます。



右の写真にスマホをかざしてみてください。動画がみられます。

- 1 QRコードや「COCOAR2」でアプリを検索
- 2 ダウンロードが完了したらアプリを起動
- 3 対象のマーカ画像(右の写真)をスキャン
- 4 動画などのコンテンツが再生されます



私たちのスローガン～

育てよう OUR COMPANY !

自ら創ろう OUR GREAT FUTURE !

本年度も遊文舎グループを何卒よろしくお願ひ申し上げます。



株式会社遊文舎 代表取締役 木原 庸裕

1968年生まれの51歳 大阪府出身
慶應義塾大学文学部卒業 / 経営道場大和 (旧盛和塾大阪) ・関西不動産三田会所属 / 大阪府グラフィックサービス協同組合常任理事
法人営業、生産管理の実務・マネジメント経験を積み財務会計の知識を備え、2007年6月2代目後継者として株式会社遊文舎代表取締役就任
2017年2月、M & Aによる事業承継により東京都調布市の株式会社 DAI プランニング代表取締役就任 * 遊文舎代表取締役兼務
妻子は大阪在住、東京都調布市に月の半分ほど単身赴任しています。趣味はウインドサーフィン、筋トレ、ゴルフ、読書です。日々の新しい刺激的な出会いに感謝しつつ、皆さまとの一つひとつのご縁を大切に生きていきたいと考えております。

怒りをコントロールして笑顔の職場を！ 1/18 リーダーシップ研修を実施

働き方改革やパワーハラスメントへの企業の対応が求められるなか、遊文舎では「働きやすい職場環境づくり」を目標に2018年から健康経営に取り組んできました。

さらに1月18日、管理指導職の社員を対象に、アビリート株式会社中越味子様を講師に迎えて、「部下指導とメンタルヘルス、ハラスメント基本研修」を実施しました。

午前中はメンタルヘルス、ハラスメントの基本についての講義で、6名×3グループに分かれて1週間の間にあったpchamingアウトを発表することから始まりました。自分のことを話すことで相手に安心感を与え、話しやすい雰囲気を作ることができます。このようなコミュニケーションスキルを使って、普段から部下や後輩との信頼関係を築くことができていると、不調や変化に早く気づき、メンタルヘルスやハラスメントの予防につながっていくことができるという興味深い内容でした。

午後は「アンガーマネジメント」についての講義でした。「アンガーマネジメント」とは「怒り」をコントロールするスキルです。自分の中にある「怒り」が何なのかを考え、他者との関

係を損なわないようコントロールするテクニックを教えていただきました。また、「共同生活でのルールの決め方」というグループワークでは、お互いの価値観の違いを認め、ギャップを埋めていく手順を通して、きちんと言葉で伝える「コミュニケーション」の重要性を再認識しました。

新しい社員も増え、遊文舎では幅広い年齢層の社員が活躍しています。今回学んだことを活かし、「みんなが働きやすい職場環境づくり」を一層推し進めていければ、と強く思いました。

(総務経理 棚橋 洋子)



飽きない語り口の中越味子講師



自分に最も必要では、と木原社長

● 編集後記 ●

皆さま、あけましておめでとうございます。この『遊文通信』もついに100号となりました。ここまで皆さまにご愛読いただけてスタッフ一同大変嬉しく思います。年号も変わり、年も明け2020年となりましたが、『遊文通信』では新しい取り組みをどんどんしていきたいと考えております。その第一歩としてUD(ユニバーサルデザイン)フォントを取り入れていきたいと思っております。より多くの方々にご愛読いただけるよう誰にとっても読みやすいニュースレターの作成に取り組んでまいります。引き続き本年もよろしくお願いいたします。(まるめがね)

☒ 今月の紙 ☒

コニーラップ アイボリー
ハترون判 / 108kg